



## プロフィール

### 合唱団おおやま

平成7年8月に結成、平成8年8月に第1回演奏会を開催。以来毎年夏に富山市大山文化会館においてオーケストラ・アンサンブル金沢との共演による演奏会を開催してきた。この演奏会では、ラター、ペルト、ドブロゴス、佐藤賢太郎、ヤイロ、ミラーなど、現代作曲家のミサ曲を数多く取り上げてきた。

平成29年、富山県民会館で大編成の合唱団によりヴェルディのレクイエムを演奏するに当たり、「合唱団OEKとやま」と名称を改めた。本年8月20日（日）に通算27回目となる演奏会をオーバード・ホールで開催する予定である。


一方、大山地域の施設でのミニコンサートや芸能発表会などには「合唱団おおやま」の名称で毎年数回出演していた。しかし、コロナ禍により令和元年11月から出演の機会がなくなり、昨年10月からようやく活動を再開したところである。

合唱団員募集中。お問合せは谷崎(090-8093-7549)まで。

ホームページ：

<http://ww2.ctt.ne.jp/~ohyama/>

  
Chorus  
Ohyama

 とやま健康パーク

# みんなで歌おう♪ 青空コーラスコンサート

〔出演〕 合唱団おおやま

〔指揮〕 谷崎修一

〔ピアノ〕 村上麻理

日時 - 令和5年6月4日（日）15:10 開演

会場 - とやま健康パーク 屋外オープンテラス（雨天時：生命科学館）

主催 - 公益財団法人富山県健康づくり財団

# プログラム

## ミサ曲より「キリエ」 Mass / Kyrie

作曲：ドブログス Steve Dobrogosz

ドブログスは、1956年にアメリカで生まれ、スウェーデン在住のジャズピアニスト。キリエは、ミサ曲の冒頭の曲で、「キリエ・エレイソン、クリステ・エレイソン」（主よ憐れみたまえ、キリストよ憐れみたまえ）という歌詞が繰り返し歌われる。1992年作曲。

## TSUNAMI

作詞・作曲：桑田佳祐 編曲：信長貴富

サザン・オールスターズの曲で、2000年に発売され、大ヒットした。しかし、東日本大震災後、放送自粛され、サザン自身もライブでの演奏を自粛している。曲中には「TSUNAMIのようなわびしさ」という歌詞が一節出てくるだけで、津波とは全く関係のない内容だが、たまたま題名につけたのが不運だった。曲に罪はないということで、近年放送が増えてきている。

## 鷗

作詩：三好達治 作曲：木下牧子

題名は「鷗」（かもめ）だが、歌詞の中に「鷗」という言葉は出てこない。「ついに自由は彼らのものだ」という文章が繰り返されるが、鷗はいつも自由なのになぜ「ついに」なのだろうか。この詩は三好達治が昭和21年に書いたもので、この「鷗」は、学徒出陣で戦死した多くの若者の魂を、自由に乱舞する鷗の姿に重ねたものである。2003年作曲。

## 発声講座 ～青空の下、おなかの底から声を出してみませんか～

講師：谷崎千鶴

## みんなで歌おう ～2部合唱でハモる楽しさを体験～

### 「朧月夜」混声合唱のための唱歌メドレー「ふるさとの四季」より

## 混声合唱のための唱歌メドレー ふるさとの四季

編曲：源田俊一郎

### 故郷～春の小川～朧月夜～鯉のぼり～茶摘～夏は来ぬ～ われは海の子～村祭り～故郷

「故郷」で始まり、春から夏、秋を経て冬へと季節の唱歌をメドレーで歌う心なごむアルバム。今回は秋と冬の3曲を省略し、最初と最後の「故郷」の間に「春の小川」から秋の「村祭り」までの7曲を歌う。

## 糸

作詞作曲：中島みゆき 編曲：山室紘一

アルバムでの初出は1992年だが、2013年以降徐々に売れ始め、2017年に日本音楽著作権協会（JASRAC）の著作権使用料ランキングで金賞を受賞した。2020年、この曲に着想を得た映画『糸』（主演：菅田将暉・小松菜奈）が公開された。